

試験科目名
人間生活デザイン

受験番号

（16枚中3枚目）

＜選択問題－1＞

日本のアニメーションはフランスや中国など海外で高く評価されています。その理由について、具体例を交えながらあなたの考えを述べてください。＜50点＞

（字数自由）

試験科目名 人間生活デザイン

受験番号

(16枚中5枚目)

＜選択問題－3＞（次紙も解答に使用してよい。裏面は使用しないこと。）

ある感染症の感染について、確率を用いて考える。この感染症は、免疫を持たない非感染者（以下、感受性者）1人と感染者1人が会食を行うと、確率 β ($0 < \beta < 1$) で感受性者が感染する。また、感染者同士や感受性者同士で会食をしても何も起こらない。いま、Aさんの住む市の人口における感染者の割合は α ($0 < \alpha < 1$) であるとし、そのことからX市の住人がこの感染症に感染している確率を α と置く。＜50点＞

- (1) Aさんがある感染者と会食をした後で、Aさんが感染していることが分かった。Aさんがこの会食によって感染した確率を α , β を用いて表せ。
- (2) Aさんが同じ市内に住むある友人と会食をした後で、Aさんが感染していることが分かった。Aさんがこの会食によって感染した確率を α , β を用いて表せ。
- (3) Aさんが同じ市内に住む n 人の友人と1人ずつ順番に会食をした後で、Aさんが感染していることが分かった。Aさんがこの一連の会食によって感染した確率を α , β , n を用いて表せ。

試験科目名
人間生活デザイン

受験番号

（16枚中6枚目）

<選択問題－3>の解答紙（続き）

--

試験科目名
人間生活デザイン

受験番号

（16枚中8枚目）

<選択問題－5>

ソシオペタル、ソシオフーガルについてそれぞれ説明したうえで、日常の生活空間の中から具体的な事例を一つ挙げ、ソシオペタル、ソシオフーガルの各配置を行うことで具体例として挙げた場にどんな効果が期待できるのかを論述してください。
<20点+30点=50点>

<10点+10点=20点>

ソシオペタル 説明	
ソシオフーガル 説明	

<30点>

日常の生活の中の具体例	
期待できる効果についての論述	

試験科目名
人間生活デザイン

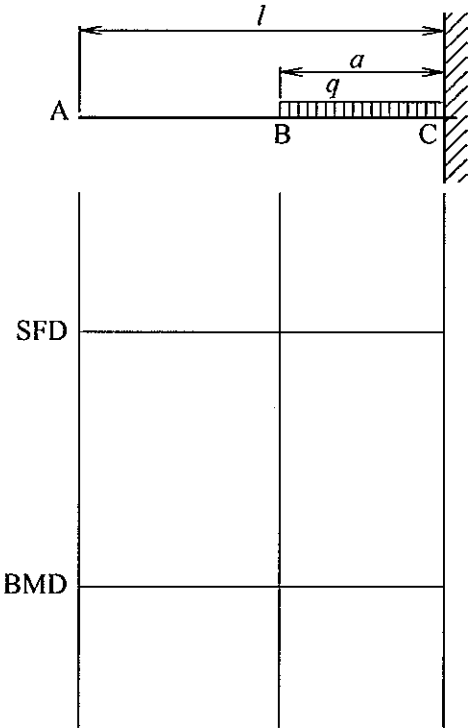
（16枚中10枚目）

受験番号

＜選択問題－7＞（次紙も解答に使用してよい。裏面は使用しないこと。）

設計した展示台を、図のように、はり構造としてモデル化した。図は、BC間に等分布荷重 q のものを置いて展示する様子を示している。はりの長さは図に示した通りである。以下の問いに答えよ。ただし、はりの縦弾性係数（ヤング率）は E 、断面積 A 、断面二次モーメント I 、断面係数 Z とする（これらの変数すべてが解答に必要とは限らない）。なお、はりの自重は無視してよい。＜50点＞

- (1) C 点の反力 R_C の大きさと、その方向を答えよ。
- (2) せん断力図（SFD）および曲げモーメント図（BMD）を図示するとともに、このはりに生じる曲げモーメントの最大値 $M_{\max}$ を求めよ。なお、導出過程も示すこと。
- (3) はりに生じる応力の最大値 $\sigma_{\max}$ と、その位置をできるだけ詳細に答えよ。
- (4) A 点の下方変位 δ_A を求めよ。なお、長さ l の片持ちはり全体に等分布荷重 q が作用している場合の先端部の下方変位は $ql^4/8EI$ 、たわみ角は $ql^3/6EI$ である。



試験科目名
人間生活デザイン

（16枚中11枚目）

受験番号

＜選択問題－7＞の解答紙（続き）

--

試験科目名
人間生活デザイン

受験番号

（16枚中13枚目）

<選択問題－9>

以下の実験概要を手がかりに、設問(1)～(3)に答えよ。なお、記述は省略されており、実験は被験者群の選定含め全て適切に行われ、結果は有意なものとする。＜50点＞

実験概要：

お互いを全く知らず相互作用もしない被験者群を集め、くじ引きにより2つの集団に分類した（最小条件集団の形成）。その後、被験者は互いに接触機会がないまま、自らが所属する集団の他のメンバー1名と他方の集団に所属するメンバー1名の各々に対して被験者報酬を分配する課題を行った。すると、自らが所属する集団のメンバーに、より多く報酬を分配するという結果が得られた。

(1) 上記実験から解釈されうる人の特性として適切なものを2つ選択し、丸で囲みなさい。

- A. 集団への所属を認知するだけで、自らと同じ集団に所属するメンバーに対してひいきする傾向がある。
- B. 集団への所属を認知するだけで、自らとは異なる集団に所属するメンバーに対してひいきする傾向がある。
- C. 自らが所属する集団と他の集団の区別さえあれば、社会的アイデンティティは形成されうる。
- D. 集団への所属を認知するだけで、自らとは異なる集団に所属するメンバーに対して攻撃的になる傾向がある。
- E. 集団への所属を認知するだけで、自らとは同じ集団に所属するメンバーに対して攻撃的になる傾向がある。

(2) (1)での解答を踏まえ、人の行動を誘発／抑制しうる組織デザインを1つ提案せよ。想定する場面、期待される行動変容を明示し、その組織デザインが有効と考える理由を示せ。

想定する場面：_____

期待される行動変容：_____

提案する組織デザイン：_____

理由：_____

(3) (2)で提案した組織デザインが期待される行動変容をもたらさなかった場合について、考えられる理由を示せ。

試験科目名
人間生活デザイン

（16枚中15枚目）

受験番号

<選択問題－11>

多様なユーザーが利用するような公共施設のデザインでは特に、安全性や利便性を高めるために、適切なシグニファイアを設計することが求められます。以下の設問に答えてください。＜10点＋40点＝50点＞

1) シグニファイアについて説明してください。＜10点＞

2) 車いす使用者や高齢者、内部障がい者、子ども連れなどの多様な人が利用可能な公衆のバリアフリースイートイレ（多機能トイレ）について、安全性と利便性のそれぞれの観点から、どのようにシグニファイアが設計されるべきかを具体例を挙げて論述してください。＜40点＞

